



一中学学習発表会

軽妙な音楽部演奏を皮切りに、全校合唱まで流れるようなステージでした。特に3年生の「オズの魔法使い」は、一人ひとりが熱のこもった迫真の演技だったと思います。チームワークがキラリと光る発表会でした。



◇体験教室開催のお知らせ◇

初めての太極拳

～心身ともに
リラックスしましょう～

日時：平成25年12月10日(火)
13時30分～15時

定員：10名

講師：榎見 寛・文子さん

申込み期間：12月2日(月)～9日(月)

問合せ：系崎コミセン 電話62-6799

系崎小学校 ふれあい参観日 しめ縄作り



絵手紙



料理



グラウンドゴルフ



地域のゲストティーチャーの皆さんと一緒に、楽しく過しました。しめ縄作りは皆さん苦勞していましたが、立派なしめ縄ができました。お見事でした。

メンコ



いまやらねば いっできる
わしがやらねば たれがやる

木彫一筋 平櫛田中(前編)

ひらぐし でんちゅう

平櫛田中一(本名・田中倬太郎は、明治五年(一八七二)、岡山県西江原村(現在の井原市)に、田中謙造・以和夫妻の六人きょうだいの長男として誕生しました。小学校時代は小柄ながらも木登りや魚捕りが得意な腕白少年で、成績は良く、一つのことに熱中する几帳面な性格でした。

父・謙造は菜種油などを扱う商人でしたが、中国地方を襲った二年続きの干ばつのために行き詰まり、倬太郎は広島県今津町(現在の福山市)の平櫛惣八・カヨのもとへ養子に出されます。田中家と平櫛家一これ「平櫛田中」の名前の由来です。

十四歳のとき、夜間学校に通わせてもらえるという条件で大阪・心斎橋の近くの小間物問屋に奉公に出ます。しかし来る日も来る日も働き通して、夜学への希望は消えてしまします。そうした中でも、奉公先の主人が連れて行ってくれた人形芝居や、近くの店先に並んでいた輸出用銅器の造形美に関心を示す倬太郎。また、そのころ岡倉天心らによって刊行された日本初の美術雑誌「国華」を、乏しい小遣いの中から買い求めてむさぼるように読む倬太郎でした。

明治二十六年(一八九三)、二十一歳の倬太郎は、奉公先の番頭の紹介で、大阪の人形師・中谷省古に弟子入りします。中谷は江戸時代の伝統を引き継ぐ彩色木彫、つまり色付けした木彫人形をつくる名人でした。このとき学んだ刀研ぎの苦勞や木彫り・色づけの技法が、倬太郎の人生を木彫世界へと導くのです。(つづく)

(ニューモラル五三二号より)